

PAT-NO: JP411313739A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11313739 A  
TITLE: FLOWER STAND  
PUBN-DATE: November 16, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
GOTO, TSUNEO

COUNTRY  
N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME  
GOTO TSUNEO

COUNTRY  
N/A

APPL-NO: JP10139163

APPL-DATE: May 6, 1998

INT-CL (IPC): A47G007/04, A47G007/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To expand the function of a flower stand, by constituting the flower stand, which uses a twisted flat steel to fix arms for mounting flower pots, so as to make increasable/reducible the number of pots and freely adjustable the height of the pots.

SOLUTION: The twisted flat steel 7 formed by twisting a flat steel is stood in the center of a table 1, and arms for mounting pots 9 respectively obtained by producing a ring 8 of a round steel, welding another round steel to the outside of the ring, after that fold-bending its tip so as to be held on the steel 7 is fixed to the right/left/front side of the steel 7 to form the flower stand. Then, a tray 10 is placed in the center of the ring 8 to use by placing a flower pot 11. At the time of inserting the folding and bending

part to the  
steel 7, the pot mounting arm 8 becomes a form inserting both sides  
of the  
steel 7 between two round steels and downward force works to the tip  
of the arm  
due to the weight of the ring 8 to be like tempered to avoid slipping  
down. As  
more weight is added at the time of mounting the pot, the arm is  
firmly fixed  
to the steel.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-313739

(43) 公開日 平成11年(1999)11月16日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

F I

A 4 7 G 7/04  
7/02

A 4 7 G 7/04  
7/02

B  
A

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-139163

(22) 出願日 平成10年(1998) 5 月 6 日

(71) 出願人 598066536

後藤 常郎

熊本県菊池郡西合志町須屋3107-5

(72) 発明者 後藤 常郎

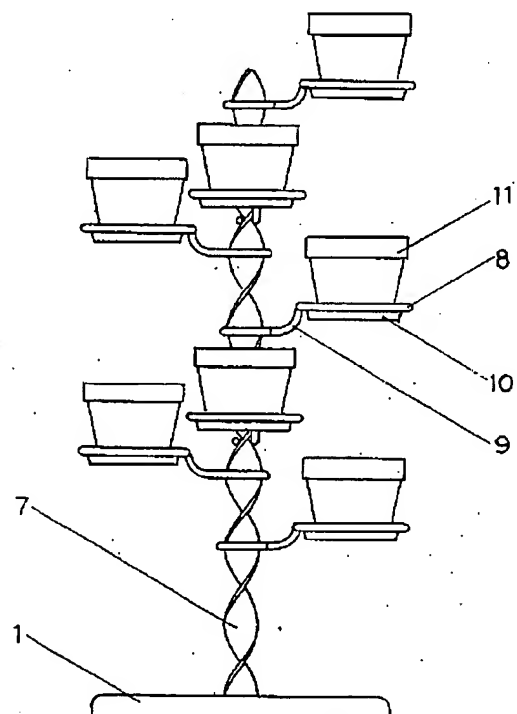
熊本県熊本市壺川1丁目10-20

(54) 【発明の名称】 フラワースタンド

(57) 【要約】

【課題】 従来のフラワースタンドは、鉢載せ台の数を変えたり、鉢の高さを変える事が自由に出来なかったため、これを自由に換えられるようにした。

【解決手段】 本発明のフラワースタンドは、柱をねじり平鋼(7)にし、これに鉢載せアーム(9)を差し込んで取付けるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 台の中心に平鋼を据じったねじり平鋼(7)を立てて取付け、次に丸鋼で輪(8)を作り、輪の外側に別の丸鋼を溶接し、その先端をねじり平鋼を挟むように折り曲げた鉢載せアーム(9)を、適宜ねじり平鋼(7)に差し込んで、取付けるようにした事の特徴とするフラワースタンド。

### 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、花の鉢を載せるフ  
ラワースタンドに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のフラワースタンドは、例として図6に示す如く、台(1)の中心に丸パイプ(2)を立て、これに嵌合するパイプA(3)にアーム(4)を出して、アームの先に台A(5)を取付けて鉗載せ台とし、これを数個用意する。次に同じく丸パイプに嵌合するパイプB(6)を数個用意する。そして丸パイプに、鉗載せ台とパイプBを、適宜、交互に入れてフラワースタンドを形成している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】フラワースタンドを使用する際に、鉢の数を増やしたり減したり、鉢の高さを変えたいと思う事がある。しかし従来のフラワースタンドは、鉢載せ台の数を自由に変える事や、高さを自由に変える事が出来ない。

【0004】

【課題を解決するための手段】この為本発明は、図1に示す如く、台(1)にパイプを立てる代わりに、平鋼を螺旋状に据じった、ねじり平鋼(7)を立てた。次に図5に示す如く、丸鋼の先を、ねじり平鋼を挟むように折り曲げ、そしてもう一方の先に、同じく丸鋼で作った輪(8)を取付けて、鉋載せアーム(9)とした。そして輪の中に、受け皿(10)を載せて鉋(11)を置くようにした。

【0005】この鉋載せアームは、折曲部をねじり平鋼に差し込むと、ねじり平鋼の両側を、2本の丸鋼が挟む形になり、輪の重みの為、アームの先端の下に向けて力が働く為こねた様になり、ずれ落ちる事が無い。このように鉋載せアームは、差し込んだ丈で落ちないが、鉋を載せると更に重みが増えるので、尚がっちりとなねじり平鋼に取付けられる。尚ねじり平鋼と折曲部の間には、若干の隙間があるのは止む終えない事なので、予め隙間を見こして、鉋載せアームの形状を決めている。

【０００６】このように本発明のフラワースタンドは、鉾載セアームをねじり平鋼の周りの、振じりに沿った螺旋状の位置に、何処にでも取付けの事が出来る。従って従来のフラワースタンドに比べると、比較にならない程多くの鉾を、自由な高さに置く事が出来る。しかも鉾載セアームの着脱が容易な為、鉾の数を簡単に変える事が出来、高さの調節も簡単に出来る。

【0007】

【発明の実施の形態】そこで本発明のフラワースタンドの第1実施例を図1により説明すると、先ず台(1)の中心に、平鋼をねじった、ねじり平鋼(7)を立てる。次に鉢載せアーム(9)は前述の如く、先ず丸鋼で輪(8)を作り、輪の外側に別の丸鋼を溶接し、先端をねじり平鋼を挟むように折り曲げる。そしてこの鉢載せアームを、適宜ねじり平鋼に取付けてフラワースタンドを形成した物である。

【0008】尚図1はこの鉢載せアームを、左右と前の3方向に取付けた例を示している。そして輪(8)の中に、受け皿(10)を載せて鉢(11)を置くようにした。なおこの際輪の代わりに、鉄製の受け皿に丸鋼を直接溶接して、鉢載せアームとしてもよい。

【0009】次にこの第1実施例を、更に装飾的価値を高め、組立て式にして取扱いを容易にした、フラワースタンドの第2実施例を図2により説明する。先ず台の足は、図3に示す如く、2本のねじり平鋼A(12)を用意し、これを十字に組合わせ、真ん中に穴をあける。次にねじり平鋼が丁度入るパイプC(13)に底板(14)を溶接し、底板の下にボルト(15)を溶接した柱立てを作る。柱立てのボルトを、2本のねじり平鋼A(12)の穴に入れて、下からナットで締めて組立て、最後にねじり平鋼Aの両端に、高さを調節するアジャスター(16)を取付けられ、台が出来上がる。

【0010】次に柱となるねじり平鋼(7)を1本用意し、台の柱立てに入れて立てればスタンドが出来上がる。最後にねじり平鋼の先端に、ねじり平鋼が丁度入るパイプD(17)に、丸鋼を装飾的に曲げた金具を溶接した頭部を作り、これを嵌めると、真ん中に鉢を置いたり、金具の先に鉢を下げる事が出来る。

【0011】更に本発明のフラワースタンドの第3実施例を図4により説明すると、木の板の台B(18)の中心に、先を少し尖らせたねじり平鋼B(19)を取付けた物である。この使用法は、ねじり平鋼Bを地面に突き刺し、台Bを回してねじり平鋼Bの先を、土の中に挿こんで立てる。こうして台Bに鉢を置いたり、又はねじり平鋼Bに、適宜鉢載せアーム(9)を取付けて鉢を置いたりして、庭先等に簡単にフラワースタンドを立てる事が出来る。なおこの場合は鉢を置かずに、簡単な腰掛けとして使用する事も出来る。

【0012】

【発明の効果】従来のフラワースタンドは、鉢載せ台の数を変えるたり、鉢の高さを変える事が自由に出来なかったが、本発明のねじり平鋼を柱にし、これに鉢載せアームを取付けるようにしたフラワースタンドは、鉢の数を増やしたり減したり、鉢の高さを自由に変える事が出来るようになった為、フラワースタンドとしての機能が広がった。

## 50 【図面の簡単な説明】

3

【図1】本発明のフラワースタンドの第1実施例の正面図。

【図2】同じく第2実施例の正面図。

【図3】図2における台の足の平面図。

【図4】同じく第3実施例の正面図。

【図5】本発明の鉢載せアームの（イ）は平面図、（ロ）は正面図。

【図6】従来のフラワースタンドの正面図。

【符号の説明】

1 台  
イプA

2 丸パイプ

3 パイプB

4 アーム  
イプB

7 ねじり平鋼  
載せアーム

10 受け皿  
じり平鋼A

13 パイプC  
ルト

16 アジャスター

19 ねじり平鋼B

4

5 台A

6 パ

8 輪

9 鉢

11 鉢

12 ね

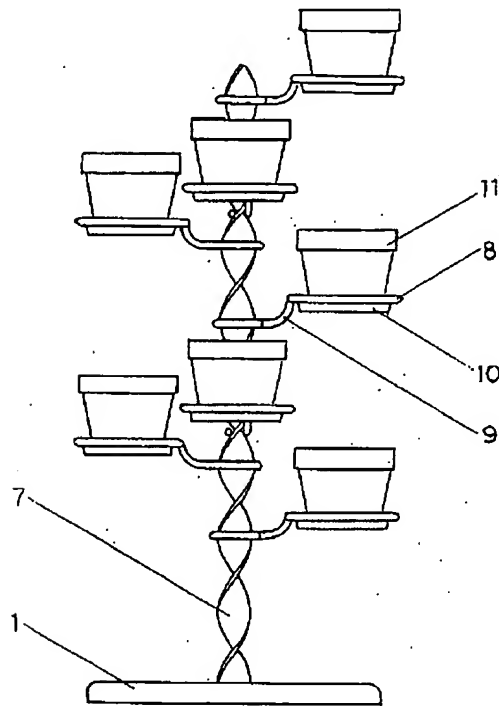
14 底板

15 ボ

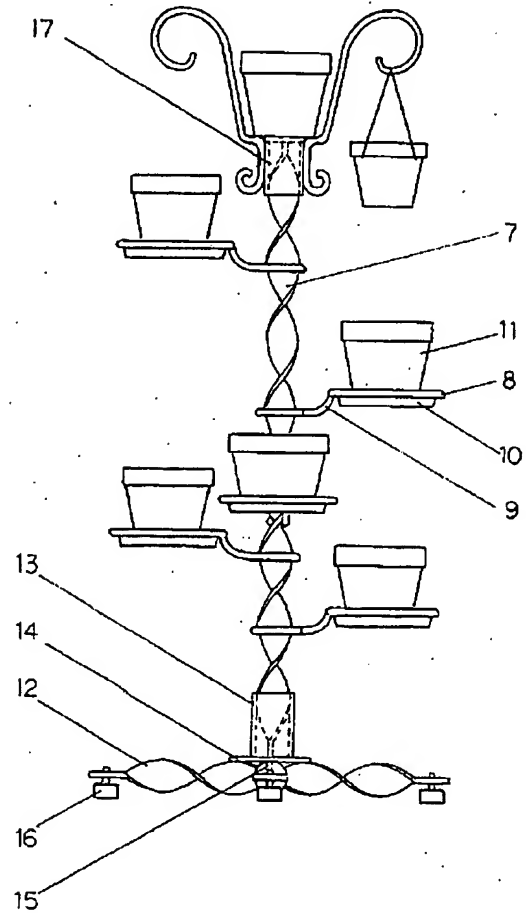
17 パイプD

18 台

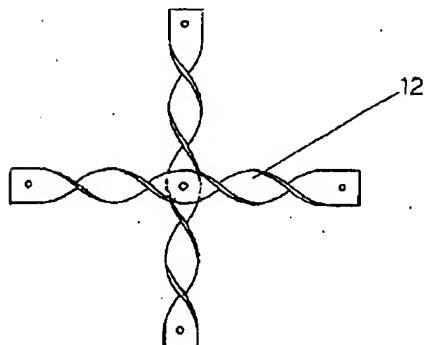
【図1】



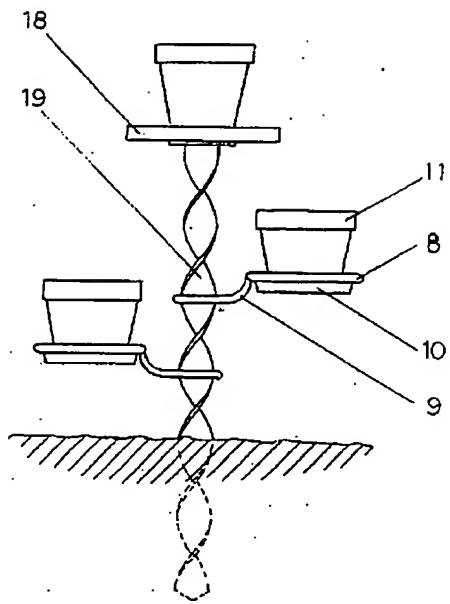
【図2】



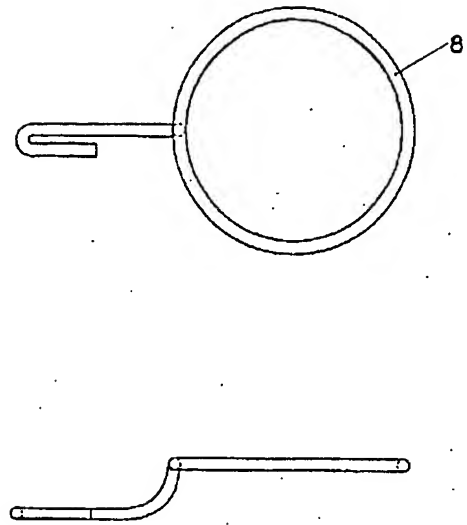
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

